科目ナンバリング	U-LAS06 20027 LJ43						
授業科目名 <英訳>	社会経済システム論Ⅰ Introduction to Socio-Economic Systems I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　柴山　桂太		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	水3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

グローバリゼーションがもたらす社会経済への変化について、歴史的・理論的に考察する。グローバリゼーションは、最近になって始まったものではなく、歴史上、何度か繰り返されている。とりわけ１９世紀末から２０世紀初頭にかけては、現在に匹敵する貿易や投資の拡大があったことが確認されている。この時代は同時に、金融危機が頻発した時代であり、国内格差が拡大した時代であり、大国が小国を支配する帝国主義の時代でもあった。この時代と現代の比較を通じて、現代のグローバル化が直面しているさまざまな課題について考えるのが、この講義の目的となる。

[到達目標]

グローバリゼーションという切り口から現代の政治経済史を理解し直すと共に、経済学や経済思想についての基礎知識を身につける。

[授業計画と内容]

以下の論点を扱う。なお論点毎の回数は固定したものではなく、その時々の受講者の理解度や時事的状況の変化に応じて適宜、変更される。

（１）グローバル化とは何か【３回】
グローバル化は具体的にどのような経緯で進展してきたのか。時事問題を交えて解説する。

（２）グローバル化の歴史比較【４回】
貿易や投資が地球規模で活発になる現象は、歴史的に何度か繰り返されている。過去と比較した場合の、現代のグローバル化の特徴について考える。

（３）国家主権と民主主義【４回】
過去と現在の反グローバル化の動きは、どのような背景で起きたのか。ナショナリズムや保護主義の歴史と、最近のポピュリズム政治の台頭について解説する。

（４）グローバル化と国際政治【３回】
国家間の関係に経済グローバル化はどのような影響を与えているのか。一九世紀の帝国主義、二〇世紀の冷戦の歴史を振り返りつつ、現代のポスト冷戦期の国際秩序の再編について考える。

授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

[履修要件]

特になし

社会経済システム論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

社会経済システム論Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

レポート試験（３０００字程度）による。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
出来る限り多くの文献を講義中に紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

レポート作成に当たっては、統計資料の活用と講義中に指示する参考文献の読解が不可欠となる。

[その他（オフィスアワー等）]